



やさしいよっちゃんと 42th アジア太平洋映画祭参加作品



森の動物たちとの温かい

いのち
生命のものがたり——！

日本PTA全国協議会推薦
映倫青少年映画審議会推薦
青少年育成国民会議推薦
優秀映画鑑賞会推薦

厚生省中央児童福祉審議会
推薦文化財

文部科学省選定

自然の大切さを“よっちゃん”から学ぶ
環境問題アニメーション映画！

声の出演

よっちゃん 小林 優子
森の妖精 小林 綾子
おひめちゃん 池田 昌子
おじいちゃん 関根 信昭
おかあさん 吉本真由美



色のクレヨンがなくなつて
最後に描いた黒い種は、土の中で育つて
大きなひまわりとなりました。——！

よっちゃんの
ふしぎな
不思議なクレヨン

企画・製作 八頭司 享

アニメーション映画

原作 ● しばやし ちえ (リトン社刊)

監督 大谷 恒清

プロデューサー 茂呂清一・八頭司重信 脚本 谷口育代 音楽 森 琢磨

作画監督 伊藤智子 美術監督 沢田栄子 撮影監督 斉藤秋男

制作協力/東映動画株式会社/東映化工/メルヘン社/東映アカデミー

制作/共和教育映画社



文部科学省選定

厚生省中央児童福祉審議会
推薦文化財

よっちゃんの ふしぎ 不思議なクレヨン

企画・製作 八頭司 享

監督 大谷 恒清



プロデューサー 茂呂清一・八頭司重信 脚本 谷口育代 音楽 森 琢磨 作画監督 伊藤智子 美術監督 沢田栄子 撮影監督 斉藤秋男



不思議なクレヨンが、いろいろな心を教えてくれます。

- ① やさしい心
- ② みんなの為に奉仕する心
- ③ ごめんねという反省の心
- ④ 自分だけの間違っただけの欲張りな心
- ⑤ ありがとうという感謝の心

〈ものがたり〉

よっちゃんは、おばあちゃんから不思議なクレヨンをもらいました。その帰り道、森にさしかかったとき雨が降ってきました。よっちゃんはもらったクレヨンで、赤い傘と青空を画用紙いっぱい描きました。すると、画用紙から赤い傘が飛び出し、空は青空でいっぱいになり素晴らしい天気になりました。

うれしくなったよっちゃんは、お腹がすいてきたので、イチゴを描きました。美味しそうなイチゴが画用紙からポーンと飛び出します。食べようとする、小鳥たちが「美味しそうだな、僕たちも食べたいな」といったので、やさしいよっちゃんは小鳥たちにみんなあげてしまいます。小鳥たちは「よっちゃんありがとう～ありがとう」と、お礼をいって飛び立っていきました。

翌日、森に出かけてバナナやメロンを描いて食べようとする、猿とか狐、熊さんが集ってきて、僕にも頂戴、私にも頂戴と描いた果物をみんな食べてしまいました。

「クレヨンは、もう黒と白と茶色しか残っていません。」

よっちゃんは悲しくなり、しくしく泣きながら「もう美味しい物が描けないわ」と茶色のクレヨンを握りしめ力をいれ画用紙を塗り潰します。それを見ていた森の妖精は「よっちゃんそんな事をしてはだめ」と、止めようとしますが、もう既に遅く、茶色のもの凄い濁流は画用紙からあふれ、森の木や草花を襲い、なぎ倒していきます。呆然とするよっちゃん。しばらくして濁流はおさまりましたが、森は見る影もなく無残な姿に変わってしまいました。

動物たちが集まって来て口々に「よっちゃんひどいよ」「僕たちどこに住めばいいの」とよっちゃんに攻めよります。

よっちゃんはそんなつもりで描いたのではありません。

しくしく泣くよっちゃんに、動物たちも反省します。「僕たちも悪かったんだ」「よっちゃんの分まで食べてしまったから」「よっちゃんごめんね」と、口々に動物たち

は謝り、何処かに立ち去ります。・・・一人ぼっちになったよっちゃんは、荒れ果てた森を見つめていると、一本の小さな芽が出ているのに気がきます。「あっそうだ。」と目を輝かせ、残っている黒と白のクレヨンで一生懸命何かを？描きます。

その夜、疲れてぐっすり眠ったよっちゃんは、いろいろな夢をみます。夢の中で雨もいっぱい降っていました。

翌朝、小鳥に起こされたよっちゃんは、外を見て「うわ～」と驚きます。晴れわたった森に、花がいっぱい咲き乱れ美しく光り輝いているのです。

よっちゃんは残ったクレヨンで種を描いたのです。そして、荒れた地に一生懸命種を蒔き『命』をふきこんだのです。

上映時間 22分



販売価格 ⑬ ¥262,500 ① ¥63,000 DVD ¥63,000 (税込)



共和教育映画社

〒530-0028 大阪市北区万歳町4-12 浪速ビル6F

TEL.06 (6312) 2645 FAX.06 (6315) 8595

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com